

「尿中メチルイソブチルケトン」 受託開始のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、特定化学物質障害予防規則(特化則)の一部が改正されることになり、令和2年7月1日から施行されることになりました。今般の改正の中で一次健診において医師が認める場合、尿中のメチルイソブチルケトンを測定することが義務付けられました。

当社対応といたしまして、下記期日より尿中メチルイソブチルケトンの検査受託を開始いたしますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

謹白

記

新規受託項目

- 4388 尿中メチルイソブチルケトン

受託開始日


- 令和2年8月11日(火)

尿中メチルイソブチルケトン

検査要項

項目コード	4388
検査項目名	尿中メチルイソブチルケトン
検体量	尿 15 mL* [専用容器でご提出ください]
保存方法	冷蔵(凍結不可)
検査方法	ヘッドスペースGC/FID法
基準値	1.7 mg/L 以下
所要日数	21~31日
検査実施料	未収載
報告下限	0.1 mg/L 未満
報告上限	99,999.9 mg/L 以上
報告桁数	小数1位
検査委託先	LSIメディエンスより 中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センターへ再委託
備考	* 必ず専用容器にて、専用検体(単独検体)としてご提出ください。 専用容器は、弊社担当員にお申し付けください。 検体は冷蔵で保存した上でご提出ください。(凍結不可)

採取容器

採取容器	
Labcon15mL 遠沈管フラットキャップ	
	
添加剤	—
保管方法	常温
有効期間	容器表示

●検体採取上の留意事項

1. 採尿はその日の作業終了後に実施し、その際は指定容器の目盛り一杯(15mL以上)まで尿を採取してください。
採尿後は直ちに付属のスクリューキャップで密栓し、冷蔵で保管した上でご提出ください。
2. 検査対象が揮発性物質のため、容器内の空間部分(気相部分)が多くなると、保管・輸送時に尿から検査対象が揮発してしまい報告値の誤差が大きくなりますので、検査不可といたします。
3. 凍結でご提出された際は、検査対象が揮発し報告値の誤差が大きくなりますので、検査不可といたします。